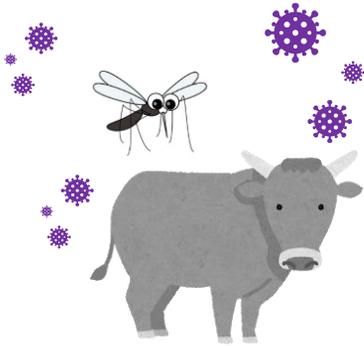


## 牛の異常産ワクチンを接種しましょう



異常産をおこすアカバネウイルス、アイノウイルス、チュウザンウイルスは、初夏の季節風により、東アジアや東南アジアから媒介者であるヌカカとともに日本に運ばれます。

その後、国内で蚊やダニ、ヌカカなどの吸血昆虫が媒介し、牛への感染が広がります。

**妊娠母牛に感染**（母牛は、ほとんど異状を認めません）

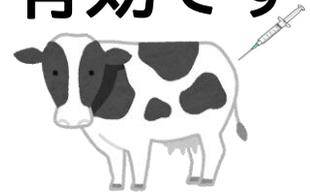
⇒ **子牛の流死産、虚弱、運動失調、体形異常**

➡ **乳生産や子牛生産に影響**

## 予防にはワクチンの接種が有効です

対象 11月頃までに種付け予定の牛

接種時期 3月～6月頃



近年、温暖化により発生地域の広がりが危惧されています。2023年には北海道でアカバネの届出が14頭ありました。異常産ウイルスが常在化していない日本では、ワクチン接種による抗体保有率が低下すると、異常産が流行する可能性があります。

**流行をおこさないため、ワクチン接種は継続して行いましょう。**

牛異常産のワクチン接種は、これまで(一社)滋賀県畜産振興協会がとりまとめ、NOSAIに委託されて3種混合ワクチンが接種されてきました。

しかし、近年の飼料や資材費等の高騰を踏まえ、少しでも負担の軽減を図るため、今後は単味ワクチンなどにも農家自らの選択肢を広げ、農家が直接NOSAI等に申し込むこととなります。

**他の疾病と同様、直接、かかりつけの獣医師にご相談ください。**

### 滋賀県家畜保健衛生所

(本所)近江八幡市西本郷町226-1

Tel:0748-37-7511, Fax:0748-37-4821

緊急携帯:090-3613-7486

◆ (北西部支所)高島市今津町弘川249-1

◆ Tel:0740-22-2145, Fax:0740-22-6681

◆ 緊急携帯:080-6176-8052